



【先週のメッセージより】第一列王記2:1~12、3章

知恵深く生きるために必要なこと

●神は私たちの必要を喜んで満たそうとされるが、同時に私たちが神に「求める」ことをも願っておられる。

神はソロモンが王になるに当たって「何でも求めよ」とチャレンジをなさったが、私たちは神に何を求めて生きているだろうか。人生を振り返って、不要なもの、求めてはいけないものを求め、損をし、痛手を被ったこともあるだろう。人はその「求めているもの」で成長を計ることができるものである。失敗から学び、成長を遂げた者は、良いもの、本当に必要なものを求めるようになっているはずである。ソロモンは神の御心に叶ったものを求め、神を喜ばせた。神はそのようなソロモンに求めた以上に増し加えることを約束なさった。同じ原則が私たちにも当てはまる。

●ソロモンは「聞き分ける心」を求めた。

王という仕事は若いソロモンにとっては大きな危機であった。彼はこのチャレンジを真正面から見つめ、その仕事を遂行するためには「聞き分ける心」、「知恵」が必要であると理解した。彼はへりくだって神にこれらのものを求めた。私たちも賢く生きるにはソロモンに習い、是非これらのものを求めていきたい。「聞き分ける心」は「みことば」を心に蓄え、「みことば」を具体的に実践していく中で身につけ、自分のものになっていくことを覚えよう。

●神は私たちにも危機や試練、挑戦、壁を与えられ、成長を願われる

あらゆる技術（生活、勉強、運動、音楽、その他）において、コーチの助けを必要とする程度の困難／チャレンジに向き合って実際に葛藤して初めて「上達」があるように、神は私たちにもちょうどよい分量を量って危機や試練、挑戦、壁を与え、それらを通して私たちに人としての成長を与えようとする。今、与えられているチャレンジに対して、神の知恵、神からの助けを求めよう。神はより大きな喜びを私たちに体験させてくださるのである。

【今週の英語】

**God doesn't want to give you the wings of a dove to fly away;
He wants to give you the wings of an eagle to soar over your
problems right where you are.**

神は飛び去るための鳩の翼ではなく、

その場で問題を超えて舞うことのできる鷲の翼を与えたいと願っておられる。

【今週の暗唱聖句】 箴言3：5～6



心を尽くして主に拠り頼め。

自分の悟りにたよるな。

あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。

そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

●クリスチャン生活で唯一「頑張らなければならないこと」とは？

それは「神さまに頼ること」である。このことをよく考えてみて頂きたい。自分で一生懸命頑張る、努力して善行を積む、修行する、というのではない。他力本願になることに一生懸命になる、ということなのである。世の中の人には「宗教は弱い人のためのものだ」「宗教は阿片だ」「だいたいにおいて他人に頼ろうとするのが潔くない！」と非難するが、神は逆に「罪人にとって「神に頼ること」の方が、よっぽど難しいのだ！」と仰っている。

●自分の方法でやりたい、神に従いたくない、というのが「罪」

…であるからなのだ。だから、前述の世の人々がする非難は極めて自然なことである。クリスチャンは神の前でのこの「高慢」を悔い改め、自分で何でもやろうとしていた高ぶりを捨て、神の前にへりくだる決心をした人間である。そのクリスチャンが、いざ実践の場で神に従い、神に拠り頼んで生きようと「努力」する時に、実は、へりくだり続けることがいかに難しいか、分ってくるのである。

●聖日礼拝遵守(じゅんしゆ)、デボーション遵守が困難なわけ

毎朝のデボーションは神の前にへりくだるクリスチャン生活の第一歩である。そこで神のみことばに耳を傾け、祈りを通して神への信頼を告白するわけであるが、これを続けることがいかに困難か、なさっている方は御存知であろう。私たちの罪深い性質はもともと、神なんかいない、神に従いたくない、思うわけであるから、放っておけば、喜び勇んで、平気で「神抜き」に一日を始めてしまう。私たちは皆、罪の性質を残した状態で救われているため、信仰を持ってから自分のうちにある「神に従うことを嫌がる罪人の自然的傾向」と戦わなければならない、ここに努力が要求されるのである。

●道がまっすぐにされる経験を積むことで信仰生活は強化される

自分の悟りに頼らず、御言葉に聞き、祈る中で「道がまっすぐにされる」経験を積み積むほど毎回神への従順を選びやすくなることは当然である。このサイクルに早く入ることの方が得ではないだろうか？ そう思うなら「心を尽くして主に拠り頼んで」行こう。■

